拓心中だより

令和５年７月２４日
猿払村立拓心中学校
学校だより　第４号
発行責任者　校長　藤田　淳

【校長先生より】

「考えることをやめたその先は…」

校長　藤 田　　淳

猿払村は、自然に囲まれた美しい村であり、その魅力は多岐にわたります。まず、息をのむような自然環境が特筆されます。村は山や森林に囲まれ、四季折々の美しい風景が楽しめます。豊かな野生動植物も見られ、自然愛好家にとって理想的な場所と言えるでしょう。
また、伝統文化や歴史に根ざした村の雰囲気も魅力的です。地域の祭りや行事が多く、地元の人々が大切に守り伝えています。そのため、訪れた人々にも地元の文化に触れる素晴らしい機会となります。
さらに、地域の食文化も楽しむことができます。新鮮な地元産の食材を使った料理は、素朴で美味しく、地元の味を堪能できます。猿払村の住民は温かく、親しみやすい人々が多く、訪れる人々を心から歓迎します。そのおもてなしの心は、訪れた人々に心地よい滞在を約束してくれることでしょう。
総じて、猿払村は自然、文化、食、人々の温かさが融合した素晴らしい場所であり、心身ともにリラックスし、充実した時間を過ごすことができるでしょう。

上の囲みの文章は今話題の ChatGPT で、「猿払村の良さを200字以内で教えて。」と入力して出てきた回答です。質問の入力直後に文章が出てきました。細かい部分ではそうかなぁと思うところはあるものの、全体的に見てそつのない回答（文章）だと思います。

Chat Generative Pre-trained Transformer（会話が生成できる事前学習済み変換器）はネット上にあるあらゆる情報から質問の答えにふさわしいものを選び出し、それを文章にして出力してくれるプログラムです。しかも、多言語対応。（ChatGPT 以外にも複数あり）　こうなってくると、いきなり答えが得られるので、検索すら不要になるのではと考えてしまいます。ただし、現段階では誤答（適さない答え）もあり、鵜呑みにすることは危険とされています。そして、この、いわゆる生成 AI の使い方について、危惧するところがあることから、様々なところで制約があげられています。学校はその代表…？「学習課題を AI にやらせるな。」

テクノロジーのおかげで色々な恩恵を得ている私たちですが、その一方で失っているものも少なくないと思います。生活上の知恵、人付き合い、などなど。また、手間暇がかかることは「コスパが悪い」とされ、（見てくれの）結果が尊重される世の中になっていると思うのは自分だけでしょうか…。 考えることは疲れるものです。面倒なことです。なので、あまり考えないで日々を過ごす方がラクだというのも分かります。ですが、考えない人の行く先は…、

▼思考力（判断力、アイディアを生み出す力）が伸びない　　▼諦めない姿勢、ミスを挽回する力が身につかない
▼想像力の低下　　▼いいように操られる

テクノロジーが進化すればするほど、我々はきちんと考えることをしなくてはならないと思います。思考停止は一時的にはなんとかなっても、結局は何も解決できず、何も生み出さない。

パスカルの有名な言葉に「人間は考える葦である」というものがあります。人間は弱い存在だが、他の生き物にはできない「考える」ということができるということです。「人間は自分が非力であること、だから生きる力を身につけなくてはならないこと、他者と助け合わなければならないこと、それらのことを知っている、それは考えることができるからだ。」ということです。

さて、もし今の世の中をパスカルが見たら何というのでしょうか…。思考停止することなく、人の言うこと、情報を鵜呑みにせず、自分で頭を働かせているかどうか。日頃の自分の言動は考えられたものかどうか。この夏、拓中生のみなさんにはじっくり自分自身を振り返ってみてほしいと思います。

【中体連管内大会の結果】

▼野球部　　⇒　第３位
▼バレー部　　⇒　決勝トーナメント進出　１回戦敗退
▼バドミントン部　⇒　団体：女子第３位
　　個人：伊藤玲那・田村耶綾ペア第３位

拓中生のひたむきな姿がそこかしこに見られた２日間の熱闘でした。試合に出場している者だけではなく、サポートとしての頑張りも立派でした。結果的に負けることなく大会を終えたチーム、個人はありませんでした。全道大会の出場権は手に入れることは出来ませんでした。しかし、これまでやってきた事実がかすむことはありません。これまで頑張ってきたことを誇りに思ってください。また、これまでの経験を、大会を終えての各自の思いを今後の生活に生かしてくれることを心から願っています。各会場で熱いご声援を送っていただきました保護者、地域の皆様には心より感謝申し上げます。みなさんの存在が彼らの心の支えとなったことは間違いありません。本当にありがとうございました。

【中学生の不安・悩みなど相談窓口あります】

長期休業中、学校に登校しない期間に、学校で友達や先生に会えないせいで、不安や悩みを抱えてしまうこともあります。そんな時に、中学生の皆さんが相談できる窓口があります。裏面に相談窓口一覧を記載しています。何か困ったことなどや、相談したいけど誰に相談して良いか分からないなど、そんなことがあったときには別紙のプリントに書かれている相談窓口をぜひ、利用してください。

【学校閉庁日のお知らせ】

北海道教育委員会では、平成 30 年度(2018 年度)から 「学校閉庁日」 の取組を全ての学校で実施しています。本校においても、夏季休業期間における学校閉庁日を 8 月 11 日(金)～8 月 16 日(水)に設定しています。学校閉庁日には基本的に職員が不在となるため、学校への連絡等はこの期間外にお問い合わせください。また、緊急連絡が必要な場合には次の連絡先までお願いします。

【 緊急連絡先 】
猿払村教育委員会　２－３０１１（休日夜間は警備会社へ転送されます。）

行事予定は学校HPの「スクールカレンダー(月)」で確認できます。学校 HP の QR⇒
https://takushin-jhs.sakura.ne.jp/

8 月の主な行

1	火	夏季休業(8／17まで)	16	水	学校閉庁日
2	水		17	木	
3	木		18	金	2学期始業式
4	金		19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	
7	月		22	火	
8	火		23	水	
9	水		24	木	
10	木		25	金	学納金引落(漁組・農協)
11	金	山の日	26	土	
12	土	学校閉庁日	27	日	
13	日	学校閉庁日	28	月	学納金引落(郵貯・信金)
14	月	学校閉庁日	29	火	常任委員会
15	火	学校閉庁日	30	水	
			31	木	

8 月 11 日(金)から 8 月 16 日(水)までの学校閉庁日の期間、何か連絡などございましたら、猿払村教育委員会までお願いします。
【電話　2-3011 】